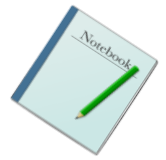




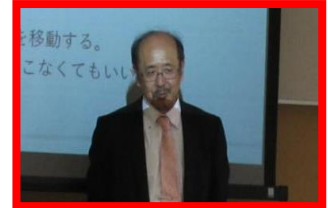
# 3期生教育コース通信



第1号（2020. 9月）

短い夏休みが終わり、2学期が始まりました。教育コース3期生は5月末からようやく授業が始まり、生徒たちはやっと学校生活に慣れてきたところです。

3期生の教育コースの活動は、コロナの影響により予定していた活動ができない状況にありましたが、日本福祉大学教育・心理学部学部長の山本敏郎先生にご協力をいただき、今年度最初の「教育基礎」の講義をいただきました。YouTube にアップされた動画を生徒それぞれが視聴する、というものではありませんが、「大学で教員免許を取る方法」について学びました。事前課題で「大学で何を学ぶか」について考え、講義の中で大学とはどういうところかという内容から始まり、教員免許の内容、教育実践、学ぶということについて深く学習することができました。



★ 科目 「教育基礎」

★ 内容 「大学で教員免許を取る方法」 日本福祉大学 教育・心理学部 山本敏郎 学部長

## <生徒の質問と、先生からの答え>

質問「他の県の大学に入っても愛知県の教員になれますか」

回答「なれます。他県でも、国立大学の場合だと附属学校と県内の学校で教育実習をすることになります。私立大学だと、ほとんどが自分の出身校に自分で連絡してお願いするという方法になります。」

質問「山本先生の理想の教師像を教えてください」

回答“Listen so that you can hear it.”という言葉があります。こういうことのできる教師です。

質問「高い学力とは具体的にどのようなものですか」

回答「一言でいえば学問の基礎ということになります。教える内容についての豊富な知識や技能を持っていないといけません。」

## <これからの高校生活に生かしたいこと>

一言で教員になるといっても、教員になるための方法は様々だから、早いうちから進路について考え、どのような教員を目指すのかを具体的に考える必要があると思います。そのために、普段の高校生活を大切に、懸命に努力したいと思いました。

勉強を本気ですることはもちろんのこと、勉強することの大切さや勉強したことにより、よかったことなどを記録していきたいと思います。また、友人などの対人関係では、相手の気持ちを読み取り、相手のことを本気で考えるように努力していきたいと思います。